

史学委員会アーカイブズと社会に関する分科会（第 26 期・第 3 回）

議事要旨

日時： 令和 6 年 12 月 22 日（日）19:00～21:00

会場：オンライン開催

出席者：大橋幸泰、川嶋四郎、芳賀満、飯島渉、飯塚一幸、太田尚宏、香室結美、後藤真、佐野正博、溝口元、若尾政希、岸本寛（以上、12 名）

欠席者：石居人也、奥村弘、長志珠絵、河西秀哉、久留島典子、西田かほる

4. 議 題

（1）前回議事録の確認

前回の議事要旨を確認し、承認された。

（2）提言「新型コロナウイルス感染症のパンデミックをめぐる資料、記録、記憶の保全と継承のために」のフォローアップについて

若尾委員より、提言のフォローアップについて説明があった。各委員からは、保存年限が直前に迫っている危機感の共有化と学会などへの呼びかけ、過去のインフルエンザ対応のように一分科会での対応ではなく学術会議が主体となって進めるべき案件であるなどの意見があった。

（3）日本学術会議資料について

委員長より、「日本学術会議資料に関する要望書」を 10 月の第一部会において説明した旨報告があった。これを受けて各委員からは、事務担当の配置や仮目録作成等の予算要求も必要であるとの意見があった。

（4）その他

- ・次年度の「第 30 回史料保存利用問題シンポジウム」の概要が太田委員より報告された。
- ・12 月 22 日に行われた総会の報告があった。